



【大野市教育理念】明倫の心を重んじ、育てよう大野

【教育目標】ふるさとに学び、心豊かにたくましく、未来を拓く児童の育成

【研究主題】主体的に学びを活用・探求する児童の育成 ～つながる学びを通して～

校訓 ・ 振気勉学

めざす
教師像

- ・ 心豊かな教師
- ・ 敬愛され、信頼される教師
- ・ 研究と修養に努める教師
- ・ 成長を支え、可能性を引き出す教師



めざす
児童像

- ・ ふるさとを愛し誇りに思う子
- ・ いつも明るい元気な子
- ・ ずっとがんばろうとする子
- ・ みんなのことを考える子

<児童のウェルビーイング>

重点目標

未来を拓く心

【自分の良さや他者の価値を認め、
他者や社会とより良い関係を築こうとする心】

- ① 自他の命・人権を大切にすることを育てる。
- ② 体験・交流活動を通して社会性を育てるとともに、自分の生き方や未来について主体的に考える態度を育む。
- ③ ふるさとを愛し誇りに思う心を育てる。
- ④ 情報モラルを身に付け、デジタルツールを適切に活用できる児童を育てる。

未来を拓く学び

【WITH ME 学習（ふるさと学習）や探究的な学びを通して
培われる確かな学力】

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、他者とながら学びを深め広げる中で、自ら学びに向かう態度を育てる。
- ② ふるさとを学びの場とし、自ら「問い」をもち、習得した知識・技能を活用して課題解決をしていく力を育てる
- ③ 様々な学びの場面で、個別・対話・協働・ICT活用など自ら学び方を選びながら学習する力を育てる。

未来を拓く身体

【健康でたくましい身体】

- ① すすんで運動に取り組み、体力の向上を図ろうとする態度を育てる。
- ② 豊かな自然を生かし、様々な運動に取り組ませることで体力や運動技能の向上を図る。
- ③ 望ましい生活習慣の定着を図るとともに、健康や食に対する意識を高め、主体的に実践しようとする力を育てる。

未来を拓く交流

【地域に開かれ、地域と共に子どもを育てる学校】

- ① 保護者や地域に積極的に情報発信し、学校への理解を深める。
- ② 地域との交流を図る。
- ③ 地域の教育力を学校教育に生かす。
- ④ 学校運営協議会や保護者と連携し、より良い学校づくりを進める。

<保護者・地域のウェルビーイング>

具体的な取り組み

- ①教育活動全体を通し、自他の命や人権の大切さを指導する。
・ポジティブ教育を推進し、幸福を自ら創り出していく力を育てる。
(自分や友だちが安全に安心して楽しく過ごせるようにしている児童 100%)
- ②行事や体験活動において、他者と協働することを通して社会性を育てる。
・他校の児童や地域の方とふれあい、他者の価値観や生き方、夢などについて知る機会を通して、自分の生き方や将来について考えさせる。
(学校が楽しい・みんなで何かをすることが楽しいと思う児童 100%)
- ③和泉ならではの活動に取り組み、和泉の伝統文化を学んだり和泉のよさを再確認したりして、ふるさとを愛する心を育てる。
(地域の方を元気づけることができていると思う児童 100%)
- ④情報モラルに関する授業を行い、「和泉っ子チェック」を定期的に行い、児童が自らメディアを正しく使おうとする態度を育てる。

- ①育てたい資質・能力を明確にし、児童の思考の深まりや広がり意識した授業づくりを進める。
・他校との交流を広げ、多様な考えに触れたり自分の言葉で表現したりして学びが深まる機会を増やす。(富田小との交流・保小中連携)
(授業がよくわかると答える児童 100%)
(学習したことを、次の授業や生活にいかすことができた児童 100%)
- ②地域の人・モノについて興味・関心をもった課題について、既習事項を活用して学びを進め発信する探究活動に取り組む。
(ふるさと和泉についてより深く学んだ児童 100%)
- ③あらゆる教育活動で ICT の活用を進めるとともに、児童が学習の目的や状況に応じて効果的な活用方法を選択できるようにする。
(ICT を有効に活用し学習に取り組んだ児童 80%)

- ①体育活動で一人一人が達成目標を設定し、体力づくりに主体的に取り組む意欲を高める。
・昼休みの「毎日全校遊び」を行い、みんなで運動をすることを楽しみながら体力づくりを進める。
(積極的に運動に取り組んだ児童 100%)
- ②地域の豊かな自然を生かしてスキーに親しむことで、体力や運動技能の向上に努める。
・和泉スキー場と九頭竜スキー場で、スキー学習を行う。
- ③健康や食に関する授業や「和泉っ子チェック」を行い、児童が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を身に付けようとする態度を育てる。

- ①各種たより・SNSによる情報発信や学校公開を通して、児童の学びや活動の様子を家庭や地域に伝える。
(児童の活動の様子等が分かったと答える保護者 100%)
- ②九頭竜マルシェや紅葉まつり等、地域行事に積極的に参加する。
・地域の方を招いた WITH ME 学習発表会を実施し、児童の学びや成長を発信する。
- ③積極的に地域の力を生かした学習を進めるとともに、伝統文化に親しむ機会を多く設ける。
(学校は地域の方々と連携して積極的にふるさと学習を進めていると答える保護者 100%)
- ④学校運営協議会や保護者とのつながりを強め、地域の力を活用することによって、より良い学校づくりに努める。
(学校は地域の方々と連携して、よりよい学校づくりを進めていると答える保護者 100%)



ふくい・おおのSDGsパートナーとしての取り組みを推進し、学びの場を広げる。

<教職員のウェルビーイング>

・職場の心理的安全性の確保・ワークライフバランスを意識した働き方・児童の成長を実感できる喜びとやりがい